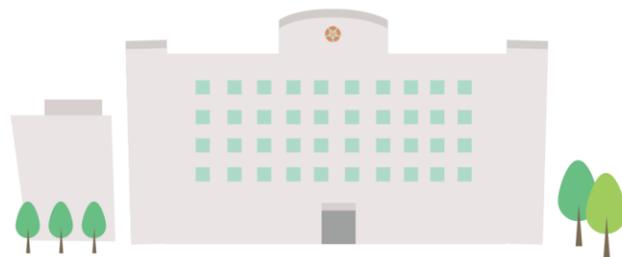


CT検査



ご利用の手引き

当院連携の先生方へ



Guide to inspection



社会福祉法人 Saiseikai Utsunomiya Hospital

恩賜
財団

済生会宇都宮病院

検査の申込みから、結果報告までの流れをご説明させていただきます。
ご案内: 注意事項をご確認の上検査をお申し込み頂きますようお願いいたします。

01 検査のご予約について

CT検査は完全予約制です。CT検査の予約は、地域連携課までお電話ください。
検査の予約日時が決まりましたら、CT診療情報提供書(兼検査依頼書)・検査予約票・
造影剤使用に関する同意書をFAXで送信いたします。

お問い合わせ

☎ TEL【直通】028-626-5674

📠 FAX【直通】028-626-5795

🕒 月曜日～金曜日 / 9:00～17:00 土曜日 / 9:00～12:00

- 予約時に、当院受診歴の有無を確認いたしますので、事前に患者さんに確認をお願いいたします。(当院を受診したことがある患者さんの場合は、当院の患者IDが既にございます。不明な場合は氏名・生年月日で検索が可能です。)
- 予約後、FAXで届いた以下の書類を元に検査のご説明等をお願いいたします。
 - ・**検査予約票**: 検査の内容や食事・常備薬などの注意事項が記載されております。こちらは、そのまま患者さんにお渡しください。
 - ・**CT診療情報提供書(兼検査依頼書)**: 必要事項の記載をお願いいたします。
※診療情報提供書の形式はこの様式でなくとも構いません。
 - ・**造影剤使用に関する説明書と同意書**: 造影剤検査をご予約の際は、こちらの説明と患者さんに同意の署名をして頂くようお願いいたします。
- 小さなお子さま(小学校低学年まで)の場合は、検査中の安静を保つためにトリクロリールなどの薬の処方が必要となりますので、その都合上ご面倒でも当院小児科外来に直接ご紹介頂きますようお願いいたします。

02 検査当日、患者さんにお持ちいただくもの

- ・診療情報提供書(兼CT検査依頼書)
- ・検査予約票
- ・造影剤使用に関する同意書 ※造影剤検査をご予約の場合のみ
- ・保険証
- ・済生会宇都宮病院の診察券 ※以前に当院を受診したことがある場合

03 検査の流れについて

当院の放射線科医師による問診の後に検査室(CT室)に入っていただきます。
検査時間は15分～30分です。胸部や腹部の検査では15秒程度の息止めをしていただきますが、息止めが困難な方は事前にお申し出ください。
その他の部位については、安静にて撮影いたします。

04 結果の報告について

原則として当日、患者さんへの結果報告は行いません。
結果報告につきましては、5日以内(土日・祝日は除く)にご依頼いただきました先生に郵送させていただきます。なお、お急ぎの場合は予約時にお申し出ください。

結果報告についてのお問い合わせは

放射線科 科長 日本医学放射線学会放射線診断専門医
日本核医学会PET核医学認定医 谷村 慶一 までお願いいたします。

05 食事について

検査前日 特に制限はありません。
検査当日 検査予約時間の2時間前より何も食べないでください。
水分(お水・お茶・スポーツ飲料など)はお取りいただいて結構です。

06 薬について(内服中のお薬について)

先生より処方されているお薬は普段通りに飲んでいただいても構いません。
また、ビグアナイド系の糖尿病薬を服用している方は、検査前2日～当日～検査後2日の合計5日間の中止が必要です。

07 料金のお支払いについて

保険適用疾患の場合、お支払いは4,000円～18,000円程になります。

08 キャンセルについて

やむを得ず変更が必要な場合は、必ず前日の正午までにご連絡いただくようお願いいたします。
ただし、前日が土曜日・日曜祝祭日の場合はその前々日の正午までとさせていただきます。

09 安全性と診断精度について

CTとは身体の切断面を写した写真です。身体を連続的に輪切りにして、その切断面の写真を順番に写していきます。現在、写真の精度は高く、かなり小さな病気でもとらえることができます。血管内に造影剤を注入すると、さらに細かな情報が得られます。またマルチスライスCTでは血管や骨などの3D構造が可能で立体的に病変部を観察できます。これにより病気の診断が確定することも多く、比較的安全に重要な情報が得られる貴重な検査手段です。副作用としては、造影剤を使用したCT検査の場合、造影剤に対するアレルギーの可能性が挙げられます。頻度は低いですが、なかには造影剤のアレルギーからショックなどに陥る人もいます。アレルギー体質の人(気管支喘息の人、以前に他の薬でアレルギー反応を経験したことのある人)には注意が必要です。

CT検査の被爆線量は約10～40mSv（ミリシーベルト）です。この被爆線量では急性の放射線障害が起きる可能性はありません。胃のバリウム検査は約4mSvで、太陽や地下及び食物などからの自然放射線は年間で約2.4mSvです。（ブラジルでは7～8mSv）

10 造影剤について

副作用については、検査の時点での体調やアレルギーの有無、造影剤の既往などに注意しながら安全に検査が行われるように努めておりますが、検査中あるいは検査後しばらくしてから下記の様な副作用症状が起きることがあります。

● 軽い副作用

ヨード造影剤では（頻度は1%前後）、吐き気、嘔吐、頭痛、めまい、注入部位反応、発疹、かゆみ、発熱、せき等が起こりますが、通常は無治療又は簡単な治療で当日又は数日でほぼ治ります。

● 重い副作用

ヨード造影剤では、6000人に1人とわずかですが、まれにショックやアナフィラキシー様反応（呼吸困難や血圧低下）が生じる等、入院加療が必要となる重篤な副作用を起こす可能性があります。しかし救急外来と連携のうえ速やかな対応が可能な体制を築いております。

● 遅発性副作用

検査終了後に遅れて軽い副作用がみられる場合があります（遅発性副作用）。症状が出るのは検査後30分程度から数日後まで幅があります。ヨード造影剤では、一般に軽い症状が多く、吐き気、頭痛、めまいなどの主観的な症状と、発疹、かゆみ、じん麻疹などの皮膚症状が中心で、治療を必要とするものは少ないとされています。症状が強い場合は救急外来まで連絡するようお願いください。

● 造影剤血管外漏出

11 検査後の過ごし方について

- ヨード造影剤は、腎臓から尿中に排出されます。排泄を促す意味もありますのでいつもより水分を多めにお取りください。
- 食事の制限や入浴の制限はありません。
- 授乳される女性の方で、ヨード造影剤を使用された方は48時間授乳することを控えるようお願いください。その間は積極的に搾乳してヨード造影剤の排泄を促すようお願いいたします。
- 遅発性の副作用と思われる症状が現れましたら救急外来を受診されるか、救急外来まで連絡するようお願いください。

ご連絡先

済生会宇都宮病院救命救急センター 

☎ TEL 028-626-5599